

紙用稿原歌和

90-91
date p. 38-39

三三三

【號原稿】

天
恩
郷

出
口
王仁三郎



思 ひ ぬ	苑 内 に 入 る を は は わ る 釣 人 の 喜 ぶ 心 愛 し と	あ へ た け り	奥 釣 り す る 人 の 心 と あ は れ み て 奥 よ る 場 所 と	み し か せ	徒 然 を な ぐ さ め ん と と 堀 端 と 三 人 伴 の め ぐ り
-------------	---	-----------------------	--	------------------	--



和歌原稿用紙

【號原稿】

空の奥限う
たうき 追はれ流り
吹く風すわし
今日
の花^カ明^メ山^{ヤマ}

十四夜う
月はほ空に
輝え流り
心清か
しき秋の
夜う旅

天恩仰高台の
灯うか
らる
追後を
又送る
夜汽車
の
窓の
あや

和歌原稿用紙

【號原稿】

山嵐峽 千鳥ヶ淵に月落きて風も静に水煙のう

つ

雲のふに窓に足たふらら食堂に朝飯を食ふ朝晴
水の流車

一花の雲なく青き大空のあたたにくらきう浮
ける富士ヶ山嶺

和歌原稿用紙

【號原稿】

十日夜の月かゆ空に澄みわたるに一筋の
ける白雲

一筋の白雲の裾裾々と流るも清し秋の夜の月

空高く深く澄みたり星稀に暮ぬるを後る秋の月

十日夜の月かゆ空に澄みわたるに一筋の
あまの光るも

和歌原稿用紙

【號原稿】

雲高く風さうや
かたき
朝晴れの空に
かたきる雲
の
不
之
ヶ
山
嶺

京都府亀岡町天恩郷
出口王仁三郎